

大学生協 中国・四国事業連合 創立25周年記念レセプション開催報告

■とき／ 2016年 5月28日〔土〕

■ところ／ 松山大学カルフルにて

■5/28〔土〕13:00～

第26回連合総会后、参加者の皆さんで、松山大学生協ショップの見学を実施しました。棚卸し作業中のところをお邪魔して、店舗を軽く見学をした後、会場を1Fの食堂に移して、記念レセプションを開催致しました。



連合総会后、中四事業連合 創立25周年記念レセプション が開催されましたので、ご報告致します。



■5/28〔土〕13:30～ 竹内理事長あいさつ



今回のレセプションには、歴代の理事長、元専務理事、連合職員の皆さんをお招きして、懐かしいメンバーと共に 中国・四国事業連合の創立25周年をお祝いしました。



← 乾杯の音頭
松本元専務
「乾杯！」



■歴代役員と現役員の皆さんで、力を合わせて鏡割り！「ヨイショヨツ!!!」

← 左から
松本元専務・竹内理事長・山本常務・岡専務・塩見前理事長
← 向井元理事長にもご参加頂く事が出来ました。



← 松山大学生協の食堂部のご協力のもと、「豪華なお弁当」や生協オリジナル「リンクサー」 「蛇口からみかん → ジュース」を楽しみました。



■13:50～ 中四事業連合の25年のあゆみ

← 山本常務より、中四地区の大学生協と事業連合の歩みと戦略テーマについて、80年代～順に時代を追って振り返り、特に歴史に残るターニングポイントとなった出来事についての思い出を当日の資料を見ながら、語って頂きました。

★ これからも中四地区の大学生協の発展を願い、会員生協と連合が共に力を合わせて、大切にしたい事 … 5つにまとめました。



当時の資料を熱心にご覧になる
向井 康雄 元理事長 →
〔2代目〕

← 山本常務
〔初代理事長〕



1. 会員生協の「自立」と「連帯」のバランスの大切さ
2. 「学生の参加・参画」が大学生協の組織も事業も発展させる
3. 大学との「緊張ある協力関係」も重要
4. 生協役職員は「大学生協運動の財産」
5. 事業の重点は「食と学びと住まい」に加えて「地球活性化への貢献」「グローバル化」を！

★ 続いて、創立時の思い出を役職員の皆さんに話っていました。



創立時の専務理事
松本 等さん
〔現コープえひめ理事長
／愛媛県生協連会長〕



当時、食堂施設担当
上甲 啓一さん
〔現おかやまコープ執行役員〕



フードサービス事業担当から
岡山大生協役員へ
朝日喜久雄さん
〔現連合フードサービス事業リーダー〕



旅行サービス担当
栗山 保夫さん
〔現島根大学生協専務理事〕



↑ 参加した学生さんを代表して
広島大 掛田さんが感想一言

知らない事もあるけれど、多くの生協職員さん達の努力や犠牲にした出来事や事件などを乗り越えて、今の中四連事業合や各大学生協があるのだとわかった。その事に感謝したい！

代議員で参加した学生さんたちも →
連合の歴史や思い出に耳を傾けました



前理事長〔3代目〕
塩見 邦彦さん



現専務理事〔3代目〕
岡 潤一郎さん

向井先生、塩見先生はじめ、諸先輩方に出席いただき、御礼申し上げます。
中四国の大学生協の事業連帯は、会員生協の「自立」に基づく協力・協同であることが大きな特徴だと思います。
今、全国での事業連帯を今後どうしていくかの議論もあるのですが、そのことを忘れずに臨んでいきたいと思います。



最後に
中四ブロック学生委員長 →
金見 翔太さん
による一本締め



大学生協中国・四国事業連合は、多くの方のご理解やご協力のもと、
創立 25 周年を向かえることができました。
これからも、我々は、組合員の生活や大学の変化に真摯に向き合い、
大学生協の強みを活かして、
組合員に貢献する事業を展開し、効果や展望につなげていきます！